


# 関宿

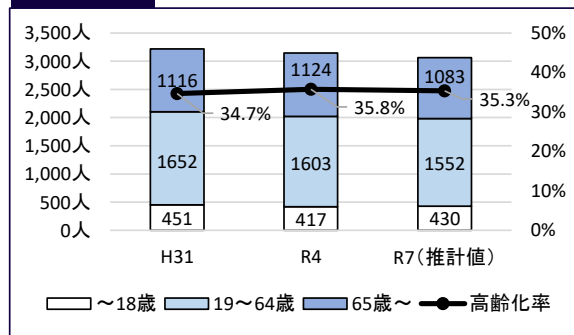
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	関宿まちづくり協議会		
		所在地	亀山市関町泉ヶ丘1011-1	電話	0595-96-1201
		地区構成	新所 中町 木崎 小野 泉ヶ丘 富士ハイツ		
		地域特性	亀山市の西部に位置し、東海道五十三次の47番目の宿場町として栄え、今なお当時の雰囲気が残されています。江戸時代後期から明治時代にかけて建てられた町家が200棟以上も現存し、国の重要伝統的建造物群保存地区や日本の道百選に選定されています。活動組織は部制と合わせて4地区制(東地区・中地区・西地区・北地区)を取り入れています。		
面積	426.3ha	ホームページ	<a href="https://sites.google.com/view/sekijuku-machikyō">https://sites.google.com/view/sekijuku-machikyō</a>		
めざす姿	心ゆたかな街、皆げんきな街、きずな深き街、暮らし住みよい街				
地域の誇り	重要伝統的建造物群保存地区に指定され、関の山車を持ち、多くの歴史遺産がある				

## ◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	3,219人	3,144人	3,065人	-75人	
人口密度	7.55人/ha	7.37人/ha	7.19人/ha	-0.18人/ha	
65歳以上	人口	1,116人	1,124人	1,083人	8人
	比率	34.7%	35.8%	35.3%	1.1%
18歳以下	人口	451人	417人	430人	-34人
	比率	14.0%	13.3%	14.0%	-0.7%
外国籍	人口	72人	85人		13人
	比率	2.2%	2.7%		0.5%

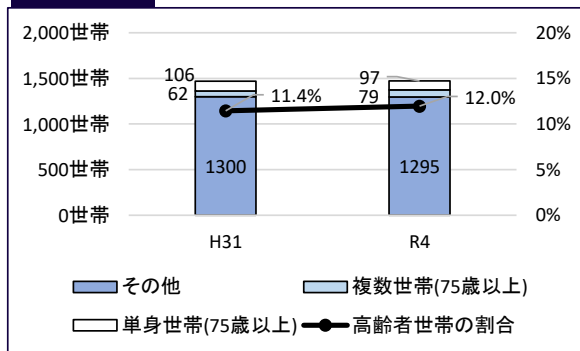
## ◆人口推移



## ◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	1,468世帯	1,471世帯	3世帯
単身世帯 (75歳以上)	106世帯	97世帯	-9世帯
複数世帯 (75歳以上)	62世帯	79世帯	17世帯
高齢者世帯割合	11.4%	12.0%	0.5%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	72人	75人	3人
要介護1～5	153人	158人	5人
合計	225人	233人	8人

## ◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	28	29	1
老人クラブ	4	4	0
子ども会	(1)	(1)	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	9
福祉委員	36
介護保険施設・事業所	2
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	2
児童福祉施設・事業所	1
病院・診療所	1
歯科	2
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	1
放課後児童クラブ	1
放課後子ども教室	1
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	2
乗り合いタクシー停留所	50



手作り作品展



歩こう会

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあい・いきいきサロン	18	12	-6
子育てサロン	1	0	-1
コミュニティサロン	1	1	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

歌声ひろば、なかよし広場・ニコニコ体操、ふれあいサロン、男のやさしい料理教室を各地区で行っています。

【訪問活動】

高齢者見守り訪問活動を年2回行っています。

【その他】

ゴキブリ団子を高齢者をはじめ、希望する世帯に配布しています。

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・敬老会
- ・手づくり作品展
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・歩こう会
- ・防災啓発・訓練
- ・害虫駆除(ゴキブリ団子作り)
- ・高齢者見守り活動

◆生活支援コーディネーターからのコメント

関宿の人口は市内で5番目に多い3,144人で、そのうち35.8%にあたる1,124人が65歳以上です。地域内1,471世帯のうち、12.0%にあたる176世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の2.7%にあたる85人が外国籍です。

地域の特色として、東海道筋には、飲食や買い物ができる商店がある一方で、地区内には坂が多い場所もあり、高齢化が進むことによって、移動販売等の利用が必要になると思われます。ふれあい・いきいきサロンの登録数は市内で2番目に多く、ラジオ体操や各種教室などの住民同士が集う場づくりが進んでいる地域でもあります。今後は、地域内に多く存在する観光資源と地域活動の融合を図り、互いに支え合える風土の醸成とあわせて、地域に愛着と誇りを持つ人も多く、4地区(東地区・中地区・西地区・北地区)の結束が強いことから、4地区それぞれの特性を大切にしながら、まち協がとりまとめ役としての役割を果たしていく体制整備が期待されます。